



学校だより

<http://fussa-3e.hs.fussa.school/>



令和6年10月1日
福生市立福生第三小学校
校長：浅倉 宏之
住所：福生市牛浜162

成長の秋に

副校長 中村 将行

「秋も深まる10月」などと言いますが、9月の中旬までは連日気温が高い日が続き、ここにきてようやく秋を感じられるようになってきました。過ごしやすくなったこれからの時期、学校にとっても特別な行事がたくさんあります。その中でも宿泊行事と運動会は、子供たちが成長し、仲間との絆を深める大切な機会となります。

9月30日・10月1日と第5学年の名栗自然教室があります。宿泊行事は、子供たちにとって普通の学校生活とは異なる特別な体験の場です。自然と触れあい、グループ活動を通じて協力し合うことで、普通の教室では得られない経験を積むことができます。野外炊事ではドラム缶ピザ作り、名栗の自然の中でオリエンテーリング、ナイトハイク、クラフト体験等を行います。宿泊行事は子供たちに「自立」を促す場でもあります。家族のもとを離れ、限られた時間の中で自分のことを自分で行う体験は、自己管理能力や責任能力を高めます。食事の準備や片付け、宿泊施設でのマナーなど、日常生活で当たり前のことが、集団生活の中で改めて重要であることを実感する場面も多くあります。たった1泊ではありますが、子供たちは一回りも二回りも成長して帰ってくるでしょう。



ドラム缶ピザ作りの様子

10月に入ると学校では子供たちも教員も「運動会モード」になります。10月26日(土)に開催される運動会、晴天の空の下、子供たちがそれぞれの種目に全力で取り組む姿は、見る者の心を打ちます。9月26日には運動会集会も行われ、赤組白組のリーダーや、係の児童を紹介しました。紹介された子供たちは自身の役割を自覚し、下学年の子供たちは「運動会は高学年のお姉さんやお兄さんに支えられているんだ」と感じることができました。運動会の準備の活動は子供たちにとって大切な学びの場です。



運動会集会の様子

一人一人が自分の役割を果たし、全体が一つの目標に向かって進む姿はまさに「チームワーク」の象徴です。この過程を通じて、ただ楽しいだけではなく、努力の大切さや仲間の大切さを学ぶことを期待しています。9月から6年生の和太鼓の練習も始まり、ほかの学年もこれから本格的に練習が始まってきます。運動会は子供たちが目標に向かって努力する過程そのものがとても重要です。チームとしての連帯や、個々の達成感は、今後の学びにも大いに役立つでしょう。

宿泊行事も運動会も、ただ楽しいイベントというだけではなく、子供たちに多くの成長の機会を提供するものです。それぞれの行事を通じて得た経験や学びを、これからの学校生活や人生にどう活かしていくか、保護者の皆様も一緒に見守っていただければと思います。

宿泊行事・運動会を含め様々な学校行事を行うに当たっては、保護者の皆様たくさんのご協力をいただきます。子供たちの成長のためぜひご理解をお願いいたします。また、運動会の実施にあたって、当日だけではなく、その練習期間で近隣の皆様には放送等で迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



第6学年 和太鼓の練習の様子